

【2025年最新版】認定こども園移行 現地視察セミナー 概要

園児数300名規模での1・2歳児も付加した
園舎建替による移行で募集力改善!

2025年
最新版

開催日時

2025年2月19日(水) 開催時間:13:00~16:30
(受付開始:視察開始30分前)

会場&集合場所:小平みどり幼稚園 〒187-0011 東京都小平市鈴木町1-341

【電車】西武新宿線「花小金井駅」から徒歩約15分 【バス】立川バス・西武バス「三中入口」下車 徒歩2分
※本セミナーは、セミナーの特性上、東京都小平市に拠点のある法人様のご参加はお断りさせていただきます。

申込期限

- 銀行振込み…開催日6日前まで
 - クレジットカード…開催日4日前まで
- ※祝日や連休により変動する場合がございます

受講料

■一般価格(1名様) 税込44,000円(税抜40,000円) ■会員価格(1名様) 税込35,200円(税抜32,000円)

※会員価格は、各種経営研究会・経営フォーラム、および社長onlineプレミアムプラン(旧:FUNAIメンバーズPlus)へご入会中のお客様のお申込みにも適用となります。
※諸事情により、やむを得ず会場を変更する場合がございますので、会場はマイページにてご確認ください。また最少催行人数に満たない場合、中止させていただく場合がございます。尚、中止の際、交通費の払戻し手数料等のお支払いはいたしかねますので、ご了承ください。

認定こども園移行 現地視察ツアー

講座内容

第1講座 幼稚園の今後から考える認定こども園移行
株式会社船井総合研究所 こども園・幼稚園チーム 遠藤 めぐみ
現状の“幼稚園”として経営を行っていくリスクについて、幼保業界における今後10年の市場動向と共に解説。経営戦略としての認定こども園への移行についてお伝えします。

講演内容
・今後10年の幼保業界が迎える市場動向
・“幼稚園”として経営を続けるリスク

第2講座 ゲスト講座 幼稚園から認定こども園へ移行する際のポイント
学校法人星野学園 理事長 星野 和宏 氏
認定こども園 小平みどり幼稚園としての認定こども園への移行から運営安定化までの事例をお話いただきます。

講演内容
・認定こども園への移行に踏み切ったきっかけ
・認定こども園への移行により変わったこと・変わらないこと
・園舎の建て替えを行い認定こども園へ移行する際の障壁と解決策
・認定こども園移行後の運営のコツ・意識していること
・今後の法人・園としての展望

第3講座 認定こども園移行を進めるための具体的な手法を徹底解説
株式会社船井総合研究所 こども園・幼稚園チーム 石原 愛子
ゲスト講座を踏まえ、認定こども園移行から移行後の運営を安定させていくための、ポイントを徹底的に解説します。

講演内容
・移行に向けたスケジュール感のポイント
・教職員対応に向けたポイント
・制度理解に向けたポイント
・保護者対応に向けたポイント
・自治体対応に向けたポイント
・認定こども園移行をゴールではなくスタートにするためのポイント

第4講座 現地視察 株式会社船井総合研究所 こども園・幼稚園チーム リーダー 高橋 勲功
学校法人星野学園 理事長 星野 和宏 氏
幼稚園から認定こども園へ移行をした園舎を含めた運営の様子を、実際にご覧いただきながら解説をします。

視察内容
・園舎建て替えにあたっての思い
・新園舎の拘りやアピールポイント
・認定こども園としての教室運営のポイント
・自園給食を初めて運用する際のポイント

第5講座 明日から考えたいこと
株式会社船井総合研究所 こども園・幼稚園チーム リーダー 高橋 勲功
本セミナーのまとめとして、重要かつ明日から実践していただきたいことをお伝えしてまいります。

講演内容
・法人・園の永続的な運営を実現するために考えたいこと・今からできること
・現状維持で経営をするリスク
・明日から始めることができる認定こども園移行への準備

認定こども園
小平みどり幼稚園
のみどころ



ゲスト講師
学校法人星野学園
理事長
星野 和宏 氏

このような方に
おススメです

- ▶ 今後10年園児が集まる認定こども園の園舎にしていきたい
- ▶ 幼稚園から認定こども園に建て替えをして移行をしている園を見てみたい
- ▶ 認定こども園移行事例と制度を同時に知りたい
- ▶ 1・2歳児受入を始めるにあたり事例を知りたい
- ▶ 施設整備をして移行したいが誰に相談していいかわからない

お申し込み方法

右記のQRコードを読み込み、お申込みください!
または船井総研ホームページ(www.funaisoken.co.jp)にある右上の検索窓に「123772」を入力、検索ください。

お申込み HP URL <https://www.funaisoken.co.jp/seminar/123772>

お問い合わせ

船井総研セミナー事務局
E-mail seminar271@funaisoken.co.jp
※お電話・メールでのセミナーお申込みは承っておりません。
※お申込みに関してのよくあるご質問は「船井総研 FAQ」と検索しご確認ください。
TEL : 0120-964-000 (平日 9:30 ~ 17:30)



お問い合わせNo.S123772

現地視察
ツアー
開催日時

2025年2/19(水) 申込締切 2/15(土) ※23:59まで
開催時間:13:00~16:30(受付開始:視察開始30分前)

会場&集合場所:小平みどり幼稚園
〒187-0011 東京都小平市鈴木町1-341
【電車】西武新宿線「花小金井駅」から徒歩約15分
【バス】立川バス・西武バス「三中入口」下車 徒歩2分

【2025年最新版】認定こども園移行 現地視察セミナー

主催 サステナブルグロスカンパニーをもっと。株式会社船井総合研究所
〒104-0028 〒541-0041 大阪市中央区北浜 4-4-10
船井総研大阪本社ビル

当社ホームページからお申込みいただけます。
(船井総研ホームページ [www.funaisoken.co.jp] 右上検索窓に [お問い合わせNo.] を入力してください) 123772

お問い合わせ No. S123772



I はじめに

▼ 幼稚園業界を取り巻く環境

2023年の出生数は**727,288人**と80万人を割りました。また、2024年の出生数も推計値で約68.5万人と幼稚園における対象人口の減少は拍車がかかっていることは一目瞭然です。

さらに、2023年度のこども家庭庁発足を皮切りとしたさまざまな子育て施策や、2026年度本格施行を見据えたこども誰でも通園制度の試験導入発足により、子育て関連の政策がこれまで以上に“保育ニーズ”に対して重きを置かれていくことも見て取れ、**幼稚園としての運営を考えた際に益々厳しい環境の到来が想像できます。**

そんな“保育ニーズ”が上昇している一方で保育所の定員割れの発生など、供給量の飽和化も起きていることも現実です。全国的に募集定員の充足はここ1～2年で加速度的に減少していることが如実に表れてきています。仮にこれまで募集定員が充足していた幼稚園であっても、今までと同じであれば淘汰されてしまいます。

学校法人 星野学園 認定こども園 小平みどり幼稚園



東京都小平市にて認定こども園を1園、
認可保育所を1園を運営している

▼ 認定こども園移行という手段

上述の外部環境を加味すると幼稚園としては、まず**時代の流れに乗り認定こども園への移行による保育機能付加が必要不可欠な改革**となります。対象人口が増加できることに加え、園としての収入源が施設型給付金へと変化し、より明確かつ体系的に把握していくことが可能となるためです。さらに、今後3～5年スパンで見たときには認定こども園としての募集力基盤の構築が次の改革としてあげられます。しかし、現状から逸脱するのは不安なことかと思えます。

学校法人星野学園は、東京都小平市にて幼稚園型認定こども園、保育所を運営されています。その中でも特に今回ご紹介する「認定こども園 小平みどり幼稚園」は、2024年度より幼稚園型認定こども園へ移行しました。

一般的に、**施設整備を伴い移行をすることは、逆境的な外部環境の中でも募集力、保護者満足度改善に大きく寄与することは多数の事例でもって証明されています。**ただし、小平みどり幼稚園も例外ではなくその同時進行にはかなりの工数と労力を使います。

そこで、本レポートでは学校法人星野学園 理事長 星野和宏氏へスペシャルインタビューを行い、「認定こども園移行に踏み切るまでの道のり」「認定こども園移行前後の苦労した点とメリット」についてお届けいたします。今後の幼稚園経営を真剣に検討されている読者の皆様の参考となる事例が多数紹介されておりますので、是非お時間をかけてご覧ください。

私学助成幼稚園

私学
助成金

施設等
利用給
付費*

認定こども園

施設型
給付費

* 無償化対象額の2万5,700円のみ対象

II 移行事例紹介

ゲスト紹介



学校法人 星野学園
認定こども園 小平みどり幼稚園
理事長 **星野 和宏** 氏

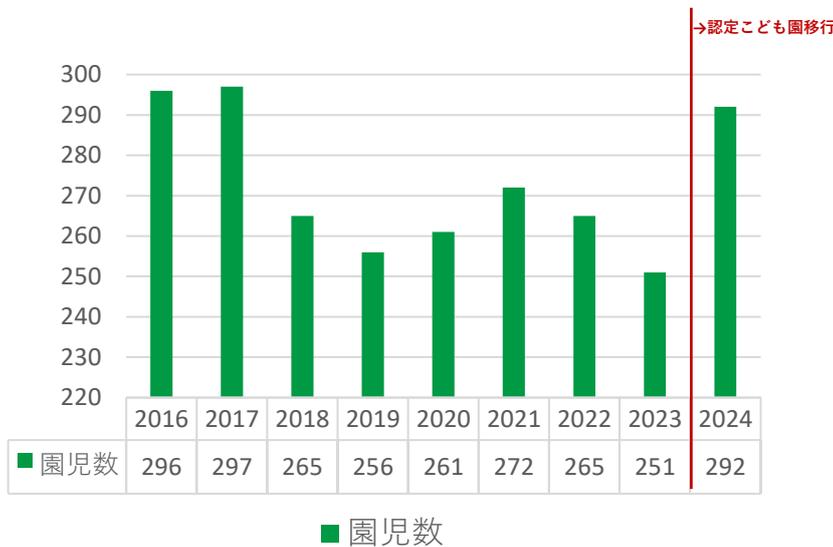
学校法人 星野学園の理事長であり、東京都小平市で認定こども園 小平みどり幼稚園を運営している。2024年4月に園舎の全面改築とあわせて、認定こども園としてリニューアルオープン。電子黒板を保育現場でより使いやすく、子どもたちの学びを深めるツールとして活用するため、機関と共同して展開をしていく取り組みもおこなっている。

認定こども園移行を考えたきっかけ

小平みどり幼稚園（以下：当園）は2024年に幼稚園型認定こども園へ移行をしました。当園が認定こども園への移行を検討し始めた頃、小平市の全体の人口は微増をしていたものの、小平市の幼稚園就園者数は減少の傾向がありました。当園でも、移行を検討し始めた頃の園児数は急激に減少しており2016年対比で**約30名減少**をしていました。このままの減少幅であると当園の園児数、そして園の運営が難しくなると感じました。その後一度は募集活動の強化により園児数を持ち直したものの、移行前年度の2023年には過去最低の251名と2016年対比**約50名減少**するまでに落ち込みました。

加えて当法人は2017年度から認可保育所をオープンし、運営をおこなってまいりました。しかし、運営を進めていく中で、保育所の委託費用が幼稚園とは大きな差があることがわかりました。このままでは、複数園展開をする他の保育所とは戦えないと考えたことが、認定こども園への移行を考えた大きなきっかけでした。

小平みどり幼稚園の園児数推移



移行までの道のり

当園は幼稚園としての開園が昭和43年であることもあり、認定こども園移行前は事実としてかなり園舎が痛んでいました。そのため、当時は認定こども園への移行と同時に園舎の改築も併せて構想していました。その中で改築や移行に向けてさまざまな情報収集をしている中で移行に関して右も左もわからない私が自分一人で移行を進めていくことは難しいと考え専門機関への依頼を検討していました。

その中で船井総合研究所に調査を依頼したことを皮切りに**移行まで疑問点・不安点を解消**してもらいながらスムーズに準備を進めて認定こども園としての開園にまで至りました。

Ⅱ 移行事例紹介

▼ 認定こども園移行で苦労した点

当園は、園舎の改築をおこなったため、**改築の工**事と**認定こども園への移行の準備を同時並行で進めていくことが大変であった**と感じます。工事の際には安全面に十分留意をしていただきながら、保護者や職員の多くの理解と協力を得ながらの移行となりました。

また、移行に伴った職員の採用は少し難航しました。満3歳児クラス、1・2歳児クラスの設置を新たにおこなったため、新規の先生方の採用だけでなく、既存の先生方にも苦労をさせてしまったこともありました。



▼ 園舎の建て替え

前述の通り、当園の開園が1968年（昭和43年）であったことから、園舎の建て替えや施設整備を行いつつ認定こども園への移行を考えていました。

園舎の改築と認定こども園への移行が同時進行であったため、実際に認定こども園移行そのもののスケジュールと園舎建て替えのスケジュールに整合性を保たせながらの移行となりました。その中で事故のないように工事を進めていただいたり、保護者や職員の理解を事前にいただきながら進めていきましたが、そのあたりの段取りを円滑に進めていくことも移行の上で意識した点です。

一方で子どもたちや職員が新しく設備の整った園舎で過ごせることは、**園に非常にポジティブで大きな変化をもたらしてくれました**。認定こども園だからこそ、また認定こども園移行を機に一から設計して検討したうえで実現した園舎だからこそそのさまざまな工夫ポイントを園舎全体に散りばめています。

▼ 認定こども園に移行して良かったこと

認定こども園に移行した結果として、**子どもたち・職員がのびのびと過ごすことができる環境**になりました。

1つ目は毎年の園児数、並びに充足率が大きく改善しました。具体的には移行前年度（2023年度）全体で**251名**だった園児数が、移行初年度（2024年度）には**292名**へと改善することができました。さらに2025年度の園児数としても同等数を見込むことができています。

2つ目は子どもたちの教育・保育の環境の変化です。新しい園舎になることで子どもたちは今までよりものびのびとした姿で園で過ごしてくれています。更に、自園給食になったことで毎日出来立ての温かい食事をとることができるようになりました。

3つ目は職員の働き方の変化です。移行に伴い、職員の給与面等の改善もされたため、移行初年度は**退職者がゼロ**となりました。また、当園へ求職者の応募が多数寄せられました。

4つ目は保護者のニーズに応えられている事です。今までよりも多くの保護者に当園への入園の選択肢を持っていただくことに繋がりました。また、1歳児、2歳児、満3歳児のクラスを設けることで早いフェーズからの入園も叶うようになりました。



Ⅲ セミナー案内

最後になりますが、今回ご紹介させていただいた
学校法人星野学園 認定こども園 小平みどり幼稚園 星野 和宏 氏
をお招きし、小平みどり幼稚園にて
「【2025年版】私立幼稚園向け認定こども園現地移行セミナー」
を開催いたします！

セミナーでお伝えする内容（一部）

認定こども園への移行、及び視察のポイントについて

1. 幼稚園業界を取り巻く環境と今後の幼稚園経営の見通し
2. 実際に認定こども園へ移行するために必要な5つのポイントとは
3. 認定こども園移行に関して障壁となる点とその乗り越え方とは
4. 移行に伴った園舎建て替えに対する想い
5. 移行前に把握しておきたい認定こども園制度理解
6. 認定こども園移行による変わること・変わらないこと
7. 認定こども園としての園舎のアピールポイント
8. 認定こども園としての教室運営の拘りやポイント

講師紹介



学校法人星野学園
理事長 星野 和宏 氏

東京都小平市にて認定こども1園、認可保育所1園を運営。認定こども園移行に伴い2年計画で施設改修も行き移行。直近では電子黒板導入する等ICTにも力を入れている。



株式会社船井総合研究所
こども園・幼稚園チーム
リーダー 高橋 叡功

一橋大学大学院経済学研究科修了後、株式会社船井総合研究所に入社。入社後は主に学校法人立の幼稚園や認定こども園への細やかな数値分析を基にしたコンサルティングスタイルで経営全般のコンサルティングに従事している。



株式会社船井総合研究所
こども園・幼稚園チーム
遠藤 めぐみ

首都大学東京（現・東京都立大学）で教育学を専攻。卒業後、株式会社船井総合研究所に入社。幼稚園や認定こども園、保育園のコンサルティングをおこなっている。「ひとりの働く女性」として業界を見つめる視点を大切にしつつ、経営者に寄り添い、伴走することを大事にしている。



株式会社船井総合研究所
こども園・幼稚園チーム
石原 愛子

早稲田大学国際教養学部卒業後、株式会社船井総合研究所に入社。SNSやWeb広告を活用した園児・生徒募集や、官公庁への申請業務の支援をおこなっている。これまでの経験から、日本の教育業界に「ワクワク」を創出することを大切に、経営者に伴走するコンサルティングをおこなっている。

Ⅲ セミナー案内

▼ 視察セミナー参加をご検討の皆さまへ



この度、本セミナーを企画させていただきましたのは、認定こども園移行に伴い、園舎を建て替えることで運営全般において成功されている園の事例を皆さまにご覧いただきたいと考えたためです。学校法人星野学園は300名規模の園として、一時期は園児数の顕著な現象に悩まされていましたが認定こども園移行×園舎建て替えでさまざまな園舎内の工夫を凝らすことにより募集改善にも成功しております。是非実際の現場をご覧いただき、貴法人の認定こども園移行の一助にさせていただきますと幸いです。

株式会社船井総合研究所 こども園・幼稚園チーム リーダー 高橋 勲功

▼ 施設紹介

今回の視察の見どころ、ポイントとなる、そして拘りでもある一部の施設を紹介いたします。



IV お客様の声

ご参加された方のご感想

本セミナーにご参加いただいた皆様の感想をご覧ください。認定こども園移行を進めるにあたり悩んでいる法人にご参加いただき、ご参加者同士で情報交換をしていただいたり、ゲスト講師や弊社メンバーと意見交換をしていただいたりする等して、本セミナーを有効にご活用いただいていることがわかります。

セミナー参加者の声

2. 第三講座を受講して得た気づきや、「今すぐ実行したい」と感じたことをお書きください。

たくさん情報量に圧倒でしたが、初めてこのようなセミナーに参加をさせていただき、とても勉強になりました。まずはスケジュール等について園長と話し合いたいです。

2. 第三講座を受講して得た気づきや、「今すぐ実行したい」と感じたことをお書きください。

移行への試算は、適切に行うことが重要だと感じた。
特に最近、実態調査が厳に行われる傾向にあるので、
各種規定、マニュアルの見直しも、移行に関わらず、行う必要があると感じてい

2. 第二講座を受講して得た気づきや、「今すぐ実行したい」と感じたことをお書きください。

貴重なお話ありがとうございました。
移行に向け不安を感じていた事が同じだったので解決できると感じれた良かったです。

2. 第二講座を受講して得た気づきや、「今すぐ実行したい」と感じたことをお書きください。

貴重なお話ありがとうございました。実際に移行に成功した事例を聞いて良かったです。
特に課題に注目し取り組んでいきたいです。

3. 第三講座を受講して得た気づきや、「今すぐ実行したい」と感じたことをお書きください。

勉強不足でしたが、基本の情報かわかりやすかったです。
何も始まっていなくても何かを始めたかと思いました。

- ・ 移行の経緯から現在の運営内容や施設などたっぷりご紹介いただき大変参考になりました。
- ・ 実際に移行を経験された方の先生のお話はとても説得力がありました。
- ・ 漠然とですがこども園を検討している中、良いタイミングでこの講座に出会えました。
- ・ 大変になる部分(職員募集や園文化の維持等)も知ることができて良かったです。